

様式第1号（第4条関係）

平成30年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書


平成30年5月29日

（あて先）

さいたま市長

所在地 さいたま市岩槻区城町2-11-48

団体名 特定非営利活動法人

岩槻・人形文化 

代表者氏名 加藤 三郎

下記により、平成30年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 1,000,000 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



## 平成 30 年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業計画書

平成 30 年 5 月 29 日

団体名 特定非営利活動法人岩槻・人形文化サポーターズ

所在地〒339-0053 さいたま市岩槻区城町 2-11-48

代表者名 加藤 三郎

事業の名称	人形のまち岩槻・創作人形国際公募展
実施期間	平成30年4月24日～平成31年3月15日
事業のテーマ	
事業の概要	<p>1、何を。 日本国内及び海外の創作人形作家を対象にした公募展</p> <p>2、いつ。 お雛様を飾る3月の節句の時期で、岩槻がまちかど雛めぐりのイベントを開催中期間中。公開期間は4日間</p> <p>3、どこで。 岩槻駅東口コミュニティセンター 3、4、5階</p> <p>4、参加者、及び来場者の対象は。 公募参加者の対象は、国内および海外の人形作家で、基本的に全てを手作りで創作できる方 既に大きな賞を受賞していたり、作品の多くの販売実績や指導的立場の創作人形作家には招待作家として作品の展示をお願いする。 来場者は、国内外を問わずに創作人形アートに興味のある方</p> <p>5、イベントの規模は。 3階ワッツルーム A, B : 招待作家作品展示 (30～50 作品) 4階多目的ルーム A, B : 公募作品展示 (100～130 作品) 5階ミニホール : 優秀作品の表彰式</p>
総事業費	1,300,000 円 (助成金交付申請額 1,000,000 円)

## 1 現状における課題と事業の目的

### 課題

日本の伝統的人形の生産地でもあるさいたま市岩槻区内には、今も人形工芸の技術を受け継ぐ技術者（人形工芸士）が数多くいるが、後継者の育成が課題となっている。

また、産業として大量生産が基本で分業と組織化された中では、新しい消費者の求める人形の創作にまで挑戦できない状況がある。

伝統工芸士としての分野と、アートを主体とした創作作家の領域に差異がある。

### 目的

人形制作にかかわる伝統的な技術や仕組みを守り、日本の伝統文化や生活の中に息づく人形に対する想いなど、新しい視点での人形づくりを、関係者達も含めさいたま市民と一緒に考える機会を作り、地域独自の情報を国内及び海外に発信。

## 2 事業の内容

- 人形の産地として国内外でも広く認知されている地域でもある、さいたま市岩槻をアート性が高い創作人形の国際公募会場とする。
- 国内、海外で創作人形を作っている作家さんに作品の出展を呼びかけ、岩槻駅東口コミュニティセンターを会場として展示し、多くの愛好者に鑑賞してもらう。
- 公募作品には部門を作り、審査を通して優秀な作品は表彰し更なる精進を促す。
- 作品の展示は、一般公募作品会場と、招待作家作品会場とに分けて展示する。

## 3 事業により期待できる効果

- 工芸のまち、人形のまちとしてのさいたま市、及び岩槻の知名度が上がる。
- 2020年に予定される岩槻人形博物館開館への事前広報に大きく貢献できる。
- 人形に対して、多岐にわたる文化継承や技術の伝承にも貢献できる。
- 日本の文化に魅力を感じる海外からの観光客にアピールできる目玉となる。
- 伝統工芸技術と新しい視点でのアート工芸との交流促進が図れる。
- 人形の工芸技術を出発点として、退潮気味の日本古来の伝統工芸全般を活性化し世界に向けて情報発信できる「日本工芸伝承のまちづくり」の拠点になれる。
- 地域独自の観光資源を活性化させ、国内外からも来訪者が増えることで、地域に大きな自信が生まれ、次の地域活性化に繋げる事ができる。
- 国際公募展とすることで海外の創作人形愛好家への出展や来訪を呼び掛け、人形の都市さいたま、人形のまち岩槻をアピールできる。

#### 4 この事業に関する、団体のこれまでの取組や特性

平成 29 年度の取組み実績

人形文化の発信や創造を推進する事業として、

- ① 岩槻人形博物館と地域の賑わいを考える勉強会の開催参加

人形文化を活かした地域連携を推進する事業として、

日本の伝統文化でもある五節句を祝う活動イベントの開催、協力

- ① 1/14 (日) 人日の節句：七草がゆ、ダルマの絵付け、人形正月飾り展示
- ② 2/24～3/11 (日) 上巳の節句：まちかど雛めぐり
- ③ 5/5 (金・祝) 端午の節句：鯉のぼりくぐり (3 会場)、武将変身記念写真
- ④ 8/5 (土) ～20 (日) 七夕の節句：笹竹飾り (屋外屋内)、流しソーメン
- ⑤ 10/7 (土) ～15 (日) 重陽の節句：木目込み人形体験、創作人形フェスタ  
伝統人形工芸・つるし飾り展示

#### 5 市との協働に期待すること

- 岩槻の地域産業の特性を生かし、アート感覚も発揮する創作人形のイベント開催は、日本国内だけに限らず世界的にも多くの人形愛好家が存在しており、世界都市を目指すさいたま市にとっても、盆栽以上の集客力が期待できる。

2020 年完成予定の人形博物館は伝統的作品の展示を通して日本の人形文化を世界に伝える役目があると思われるが、伝統を伝えるには常に新しい刺激と挑戦が必要になってきます。

今回は国内及び国外を対象にした公募展で、東京オリンピック、パラリンピック、又さいたま国際芸術祭のイベントに対応するためにも、前回の申請よりもより対象範囲を広げた国際公募展を開催したいと考えています。

大きな世界的イベントに発展してきた世界盆栽大会に並ぶような、人形の国際公募展に育てるためにも、協働によるさいたま市の支援が必要です。

#### 6 助成期間終了後の事業展開

- さいたま市、岩槻区、岩槻人形協同組合、地域・市民活動団体などによる実行委員会方式での定期的公募展の開催
- 3年に1回のさいたま国際芸術祭開催に合わせた国際公募展の開催
- 上記期間の間には、毎年国内公募展の開催
- 新設する岩槻人形博物館や街なかの人形店、及び公募に参加した創作人形作家たちとの連携による地域おこしイベントの継続的な開催

## 7 事業のスケジュール

実施時期	実施内容
平成 30 年 6 月～	関係団体の打ち合わせ会合、広報公募準備作業 募集案内資料・チラシ作成発送、専門誌広報掲載
10 月	展示ポスター、配布チラシの作製
12 月	出展者の集計、作品リスト作成、資料印刷
1 月	出展者への詳細資料発送
2 月 26 日	作品受け入れ
2 月 27 日	会場展示作業、作品審査
2 月 28 日 ～3 月 3 日	作品展示公開 最終日（3 日 15 : 00～）撤収片づけ
3 月 4 日	招待作家作品発送
～	
3 月 中旬	事業報告書の作成、事業報告会、

## 8 事業の実施体制

氏名	団体における役職等	この事業における役割
加藤 三郎	代表理事	総括代表責任者
		総括責任者
		商店会関係担当
		人形組合関係担当
		連絡責任者
		地域広報担当
		地域広報担当
		地域活動団体担当
		事務局担当
		広報担当

※ 事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。

## 他団体との連携状況

人形文化の発信や創造を推進する事業

- ① 人形会館とまちづくりを考える勉強会の開催では  
岩槻区内商業者団体、岩槻人形協同組合、岩槻市民活動ネットワーク団体

人形文化を活かした地域連携を推進する事業

日本の伝統文化でもある五節句を祝う活動イベントの開催で連携協力した団体  
 (後援) さいたま市、岩槻区、さいたま商工会議所、岩槻区自治会連合会、  
 (共催) 岩槻人形協同組合、岩槻観光委員会、岩槻区内商業者団体、地域伝統文化推進機構、  
 (協力) 岩槻まちづくり市民協議会、ためぞうクラブ、ひなまちデザイン、コミュニケーションネットワークいわつき、岩槻観光ボランティア・ガイド会、食生活改善推進員協議会、さいたま市保健愛育会、目白大学、人間総合科学大学

※ 企業・自治会・NPO・ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。

## 事業収支予算書

&lt;収入&gt;

単位：円

区分		金額	内訳
自己資金	自己拠出金	45,000	100 作品×2,000 円
	出展費	200,000	
	協賛金	55,000	
自己資金 (a)		300,000	
助成金交付申請額 (b) (100万円以内)		1,000,000	
収入合計 (c)=(a) + (b)		1,300,000	

&lt;支出&gt;

区分		金額	内訳
助成対象経費	助成金 会場使用料・賃借料	180,000	コミュニティセンター5日間 展示用パネル等
	助成金 会場設運営・撤去費・ 保険料	120,000	会場作り作品展示、会場解体整理、 開場時間内会場対応、リスク管理
	助成金 審査員謝金	40,000	4人×10,000
	助成金 印刷製本費	300,000	応募用紙, フラシ, ポスター, パンフレット
	助成金 通信運搬費	180,000	資料送付、返却時梱包運搬費等
	助成金 消耗品	180,000	ポスター掲示、のぼり、資料作成等
	助成金充当経費 (d)		1,000,000
経費	自己資金 助成対象経費のうち、 助成金限度額を上回 る部分	50,000	消耗品、捨て看板等
	対象外 経費 その他の自己資金充 当経費	250,000	スタッフ人件費
自己資金充当経費 (e)		300,000	
総事業費 (f)=(d)+(e)		1,300,000	

※(a)=(e)、(b)=(d)、(c)=(f)となるように記入してください。

## 助成金限度額計算書

単位：円

区分	金額	内訳
自己資金(a) × 3	900,000	
無報酬で事業に参加する市民の労力	事業の実施時期・内容	※人数×時間×500円×回数
	①平成29年10月 公募案内の発送関連	12,000 4人×6時間×500円×1回
	②平成30年1月 出展者への資料発送	10,000 4人×5時間×500円×1回
	③平成30年2月 参加作品受入れ作業	24,000 4人×6時間×500円×2回
	④平成30年2月27日 搬入展示作業手伝い	24,000 6人×8時間×500円×1回
	⑤2月28日～3月2日 展示作品管理手伝い	8,000 4人×4時間×500円×1回
	⑥3月3日 展示作品管理手伝い	6,000 2人×6時間×500円×1回
	⑦3月3日 作品撤収会場片づけ	6,000 6人×2時間×500円×1回
	⑧平成30年2月 ポスターなどの設置	30,000 4人×5時間×500円×3回
労力換算額(g)	120,000	
助成金限度額(h) = (a) × 3 + (g)	1,020,000	

助成金交付申請額(b) ≤ 助成金限度額(h)

1,000,000円 ≤ 1,020,000円



## 無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・内容の番号	氏名	住所	印
① ↑ ↑ ↑			
② ③ ④ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑			
⑤ ↑ ↑ ↑			
⑥ ↑			
⑦ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑			
⑧ ↑ ↑ ↑			

注1) 助成金限度額計算書(別紙2の2)で記入した事業の実施時期・内容の番号にあわせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。

注2) 実績報告書に添付する際は、参加者の認印を押印してください。

注3) 記入欄が不足する場合には、別紙に記入して添付してください。

## 団体概要

団体名		(ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじんいわつきにんぎょうぶんかさぼーたーず 特定非営利活動法人岩槻・人形文化サポーターズ																																															
代表者		(ふりがな) かとう さぶろう 加藤 三郎																																															
連絡 責任者	氏名	(ふりがな) [REDACTED]																																															
	住所	〒 [REDACTED]																																															
	電話・FAX	電話 [REDACTED]	FAX [REDACTED]																																														
	E-mail	[REDACTED]																																															
設立年月日		平成 28 年 2 月 28 日																																															
団体の目的		○ 人形文化の発信や創造を推進する事業の推進、 ○ 人形文化を活かした地域連携を推進する事業の推進																																															
会員数		個人会員 30 名	団体会員 3 団体																																														
さいたま市内における 主な活動内容		人形文化の発信や創造を推進する事業として、 ① 人形会館とまちづくりを考える勉強会の開催  人形文化を活かした地域連携を推進する事業として、 ① まちかど難めぐりでのアンケート調査 ② 人形文化講座の開催 ③ 人形博物館支援人材育成講座の開催 ④ 人形文化普及に関わるイベントの開催																																															
団体の財政規模		本年度予算 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)																																															
		<table border="0"> <tr> <td colspan="2">&lt;収入の部&gt;</td> <td colspan="2">&lt;支出の部&gt;</td> </tr> <tr> <td>会費収入</td> <td>150 千円</td> <td>事業費</td> <td>560 千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td>千円</td> <td>管理運営費</td> <td>100 千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>525 千円</td> <td>その他支出</td> <td>15 千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>675 千円</td> <td>計</td> <td>675 千円</td> </tr> </table>	<収入の部>		<支出の部>		会費収入	150 千円	事業費	560 千円	寄附収入	千円	管理運営費	100 千円	事業収入	525 千円	その他支出	15 千円	その他収入	千円			計	675 千円	計	675 千円	<table border="0"> <tr> <td colspan="2">&lt;収入の部&gt;</td> <td colspan="2">&lt;支出の部&gt;</td> </tr> <tr> <td>会費収入</td> <td>66 千円</td> <td>事業費</td> <td>648 千円</td> </tr> <tr> <td>寄附収入</td> <td>千円</td> <td>管理運営費</td> <td>2 千円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>634 千円</td> <td>その他支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>700 千円</td> <td>計</td> <td>650 千円</td> </tr> </table>	<収入の部>		<支出の部>		会費収入	66 千円	事業費	648 千円	寄附収入	千円	管理運営費	2 千円	事業収入	634 千円	その他支出	千円	その他収入	千円			計	700 千円
<収入の部>		<支出の部>																																															
会費収入	150 千円	事業費	560 千円																																														
寄附収入	千円	管理運営費	100 千円																																														
事業収入	525 千円	その他支出	15 千円																																														
その他収入	千円																																																
計	675 千円	計	675 千円																																														
<収入の部>		<支出の部>																																															
会費収入	66 千円	事業費	648 千円																																														
寄附収入	千円	管理運営費	2 千円																																														
事業収入	634 千円	その他支出	千円																																														
その他収入	千円																																																
計	700 千円	計	650 千円																																														